

品目	規格・単位	薬価	薬価基準収載 医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<内用薬> アイミクス配合錠LD アイミクス配合錠HD	1錠 1錠	150.40 173.40	2149118F1020 2149118F2026	イルベサルタン /アムロジピン ベシル酸塩	大日本住友 =塩野義	高血圧症	成人には1日1回1錠(イルベサルタン/アムロジピンとして100mg/5mg又は100mg/10mg)を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。	2149	劇 処方	12月19日
アミティーザカプセル 24μg	24μg 1カプセル	156.60	2359006M1025	ルビプロロトン	スキャンポファーマ =アボット	慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く)	成人にはルビプロロトンとして1回24μgを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する。なお、症状により適宜減量する。	2359	処方	11月22日
ヴォトリエント錠200mg	200mg 1錠	4,027.20	4291028F1023	パゾパニフ 塩酸塩	グラクソ =スミスクライン	悪性軟部腫瘍	成人にはパゾパニフとして1日1回800mgを食事の1時間以上前又は食後2時間以降に経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	4291	劇 処方	11月22日
スィニー錠100mg	100mg 1錠	83.00	3969016F1023	アナグリチン	三和化学 =興和	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る ①食事療法、運動療法のみ ②食事療法、運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤を使用 ③食事療法、運動療法に加えてビッグuanid系薬剤を使用 ④食事療法、運動療法に加えてSGLT2阻害剤を使用 ⑤食事療法、運動療法に加えてチアゾリジン系薬剤を使用	成人にはアナグリチンとして1回100mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら1回量を200mgまで増量することができる。	3969	処方	未定 (年内)
ディアコミット ドライシロップ分包250mg ディアコミット ドライシロップ分包500mg ディアコミット カプセル250mg	250mg 1包 500mg 1包 250mg 1カプセル	507.10 1,015.10 507.10	1139011R1025 1139011R2021 1139011M1028	スリパントール	MeijiSeika	クハザム及びバルプロ酸ナトリウムで十分な効果が認められないDravet症候群患者における間代発作又は強直間代発作に対するクハザム及びバルプロ酸ナトリウムとの併用療法	1歳以上の患者には、スリパントールとして1日50mg/kgを1日2～3回に分割して食中又は食直後に経口投与する。投与は1日20mg/kgから開始し、1週間以上の間隔をあげ10mg/kgずつ増量する。ただし、体重50kg以上の患者には、スリパントールとして1日1000mgから投与を開始し、1週間以上の間隔をあげ500mgずつ増量する。なお、1日最大投与量は50mg/kg又は2500mgのいずれか低い方を超えないこととする。	1139	劇 処方	11月27日
ブフェニール錠500mg ブフェニール顆粒94%	500mg 1錠 94% 1g	449.40 831.70	3999032F1021 3999032D1020	フェニル酪酸ナトリウム	オーファン =パンフィック	尿素サイクル異常症	成人及び体重20kg以上の小児にはフェニル酪酸ナトリウムとして1日あたり9.9～13.0g/m <sup>2</sup> (体表面積)を3回～6回に分割し、食事又は栄養補給とともに若しくは食直後に経口投与する。体重20kg未満の新生児、乳幼児及び小児にはフェニル酪酸ナトリウムとして1日あたり450～600mg/kgを3回～6回に分割し、食事又は栄養補給とともに若しくは食直後に経口投与する。投与は少量より開始し、患者の状態、血中アンモニア濃度、血漿中アミノ酸濃度等を参考に適宜増減する。また、食事制限及び必須アミノ酸補給等の十分な栄養管理の下に投与する。	3999	処方	2013年 1月
メサペイン錠5mg メサペイン錠10mg	5mg 1錠 10mg 1錠	178.30 338.50	8219002F1024 8219002F2020	メサドン塩酸塩	帝國製薬 =テルモ	他の強壮オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌	本剤は、他の強壮オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。 成人に対し初回投与量は本剤投与前に使用していた強壮オピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、メサドン塩酸塩として1回5～15mgを1日3回経口投与する。その後の投与量は患者の症状や状態により適宜増減する。	8219	劇 麻 処方	未定
ロトリガ粒状カプセル2g	2g 1包	254.00	2189019M1020	オメガ-3 脂肪酸エチル	武田	高脂血症	成人にはオメガ-3脂肪酸エチルとして1回2gを1日1回、食直後に経口投与する。ただし、トリグリセリド高値の程度により1回2g、1日2回まで増量できる。	2189	-	2013年 1月10日

品目	規格・単位	算定価格	薬価基準収載 医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<注射薬> アイリーア硝子体内 注射液40mg/mL	2mg0.05mL 1瓶	159,289.00	1319405A1027	アフリベ <sup>®</sup> ルプト (遺伝子組換え)	ハ <sup>®</sup> イエル=参天	中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢 黄斑変性	アフリベ <sup>®</sup> ルプト(遺伝子組換え)として 2mg(0.05mL)を1ヵ月ごとに1回、連続3回 (導入期)硝子体内投与する。その後の維持 期においては、通常、2ヵ月ごとに1回、硝子 体内投与する。なお、症状により投与間隔 を適宜調節する。	1319	生物 劇 処方	11月27日
ジプレキサ筋注用10mg	10mg 1瓶	2,067.00	1179408E1020	ラザ <sup>®</sup> ピソ	日本 イ <sup>®</sup> リリ	統合失調症における精神運動興奮	成人にはラザ <sup>®</sup> ピソとして1回10mgを筋肉内 注射する。効果不十分な場合には、1回10mgまでを追加投与できるが、前回の投与 から2時間以上あけること。また、投与回数は、追加投与を含め1日2回までとする こと。年齢、症状に応じて減量を考慮すること。	1179	劇 処方	~12月
ソマチュリン皮下注60mg ソマチュリン皮下注90mg ソマチュリン皮下注120mg	60mg 1筒 90mg 1筒 120mg 1筒	180,360.00 253,900.00 323,624.00	2499413G1025 2499413G2021 2499413G3028	ラノ <sup>®</sup> フト <sup>®</sup> 酢酸塩	帝人 <sup>®</sup> ファ <sup>®</sup> マ	下記疾患における成長ホルモン、IGF-1(ソ マト <sup>®</sup> ジン-C)分泌過剰状態及び諸症状の 改善 先端巨大症・下垂体性巨人症(外科的 処置で効果が不十分な場合又は施行 が困難な場合)	詳細は添付文書をご覧ください。	2499	劇 処方	2013年 1月中旬
タイガシル点滴静注用 50mg	50mg 1瓶	12,188.00	6129400F1020	チ <sup>®</sup> サイクリン	ファ <sup>®</sup> ザ <sup>®</sup>	<適応菌種>本剤に感性的大腸菌、シロ バ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> 属、クレブ <sup>®</sup> シエラ属、エンテ <sup>®</sup> ロバ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> 属、アシ トバ <sup>®</sup> ク <sup>®</sup> 属 ただし、他の抗菌薬に耐性 を示した菌株に限る <適応症>深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、 びらん・潰瘍の二次感染、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎	成人にはチ <sup>®</sup> サイクリンとして初回用量100mgを 30~60分かけて点滴静脈内投与、以後12時 間ごとに50mgを30~60分かけて点滴静脈 内投与する。	612	劇 処方	11月22日
<外用薬> ギリアデル脳内留置用剤 7.7mg	7.7mg 1枚	156,442.60	4219700X1020	カ <sup>®</sup> ムスチン	ノー <sup>®</sup> ベル <sup>®</sup> ファ <sup>®</sup> マ =エ <sup>®</sup> サイ	悪性神経腫	成人には、腫瘍切除腔の大きさや形状に応 じて、本剤8枚(カ <sup>®</sup> ムスチンとして61.6mg)又は 適宜減じた枚数を脳腫瘍切除術時の切除 面を被覆するように留置する。	4219	劇 処方	2013年 1月9日
シープリ 吸入用カプセル50μg	50μg 1カ <sup>®</sup> セル	199.20	2259712G1029	ケ <sup>®</sup> リコ <sup>®</sup> ロニ <sup>®</sup> ム 臭化物	ハ <sup>®</sup> ル <sup>®</sup> ティス	慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺 気腫)の気道閉塞性障害に基づく諸症 状の緩解	成人には1回1カ <sup>®</sup> セル(ケ <sup>®</sup> リコ <sup>®</sup> ロニ <sup>®</sup> ムとして50 μg)を1日1回本剤専用の吸入器具を用 いて吸入する。	2259	処 方	11月22日
トービイ吸入液300mg	300mg5mL 1管	8,633.80	6123700G1026	ト <sup>®</sup> ブ <sup>®</sup> ライシ <sup>®</sup> ン	ハ <sup>®</sup> ル <sup>®</sup> ティス	嚢胞性線維症における緑膿菌による 呼吸器感染に伴う症状の改善	1回300mgを1日2回28日間噴霧吸入する。 その後28日間休薬する。これを1サイクルと して投与を繰り返す。	6123	劇 処方	2013年 1月初旬

\*1 会社名中、2社以上の表記については、前社が製造販売承認取得会社、後社は販売会社であることを示します。

\*2 一部省略してありますので詳細は添付文書等をご確認ください。